

学 会 消 息

◇ポール・ロワイヤル学会 (Société des Amis de Port-Royal)

ポール・ロワイヤル学会1982—1983年年次大会が1983年10月7日～8日、フランス、パリ郊外のポール・ロワイヤル・デ・シャン修道院跡で、「メートル・ド・サシと聖書」の主題の下に開催され、本学からは森川 甫教授が出席し、討議に参加した。

◇日本社会教育学会

第33回研究大会が1983年10月8日(土)から10日(月)まで大阪大学で開催された。本学部からは芝田正夫助教授が課題研究部会で「自治体図書館計画はいかにあるべきか」というテーマで報告をおこなった。

◇日本社会学会大会

第56回日本社会学会は、1983年10月9日(日)、10日(月)の両日、埼玉大学で開催された。

本学からは、萬成 博教授が基礎理論(14)、加藤春恵子教授がテーマ部会「戦後の日常世界と多元的現実」でそれぞれに司会にあたった。

中野秀一郎教授は、テーマ部会「生と死の社会学」で「＜死の社会学＞をめざして」について発表した。

海野道郎教授は、都市の部会で「高層住宅は子供の外遊びを阻害するか—芦屋浜シーサイドタウンにおける調査研究—」、基礎理論(14)では、鏡 豊氏とともに「マイノリティー・マジョリティー—過程の理論的研究—その2—」について共同発表した。

また、社会学史(2)の部会で、本学大学院研究員(現、摂南大学)春日雅司氏は、「ウェーバーの「伝統的支配」と「カリスマ的支配」の関連性について発表した。

◇日本社会心理学会

日本社会心理学会第24回大会は、1983年10月9日(日)と10日(月)の両日、東海大学において開催された。本学からは田中国夫教授、岩淵千明氏の共同研究で、「帰属錯誤に関する研究」を岩淵千明氏が発表した。

◇数理社会学研究会

数理社会学研究会が1983年10月10日から12日まで、東京目白のうずら荘において行われた。本学からは海野道郎教授が参加し、「社会的蟻地獄の数理モデル」について発表した。

◇関西心理学会

関西心理学会第95回大会は、1983年10月23日(日)、立命館大学にて行なわれ、本学からは田中国夫教授が出席し、理事会ならびに討議に参加した。

◇日本新聞学会

1983年度秋季研究発表会は、11月18日(金)、東京大学新聞研究所主催により、学士会館において開催された。個人研究発表のほかに、ワークショップ「日本の情報環境はどう変わってきたか」が行われた。本学からは真鍋一史教授が「情報行動の研究—L. Guttman の諸法則とその追試—」というテーマで発表した。本学からは津金沢聡広教授、加藤春恵子教授、芝田正夫助教授も出席した。

◇日本福音主義神学会第2回研究会議

日本福音主義神学会第2回研究会議は1983年11月28日—30日の3日間、御殿場市東山荘において開催された。春名純人教授は第2日「聖書の靈感・権威・原典についての教義学的検討」のレスポンドントとして「バルトの聖書論」についてキリスト教哲学の立場から報告した。

執筆 者 紹 介 (掲載順)

三 隅 二 不 二	大阪大学人間科学部教授	真 鍋 一 史	社 会 学 部 教 授
大 道 安 次 郎	名 誉 会 員	海 野 道 郎	社 会 学 部 教 授
栃 原 知 雄	名 誉 会 員	岩 本 健 良	社 会 学 部 学 生
春 名 純 人	社 会 学 部 教 授	上 田 博 子	社 会 学 部 学 生
中 山 慶 一 郎	社 会 学 部 教 授	川 本 真 由 実	社 会 学 部 学 生
倉 田 和 四 生	社 会 学 部 教 授	春 日 雅 司	社 会 学 部 大 学 院 研 究 員
杉 原 方	社 会 学 部 教 授	竹 安 栄 子	社 会 学 部 大 学 院 研 究 員
嶋 田 津 矢 子	社 会 学 部 教 授	元 濱 涼 一 郎	社 会 学 部 大 学 院 博 士 課 程 在 籍
高 田 真 治	社 会 学 部 教 授	山 中 速 人	社 会 学 部 大 学 院 博 士 課 程 前 期 課 程 修 了
西 山 美 瑳 子	社 会 学 部 教 授		

社 会 学 部 研 究 会 々 員

会 長	武 田 建		
評 議 員	牧 正 英	杉 原 方	領 家 穰
	杉 山 貞 夫	津 金 沢 聡 広	春 名 純 人
	安 藤 文 四 郎		
会 計 監 査	森 川 甫	西 山 美 瑳 子	
書 記	石 井 佐 兵 衛		
名 誉 会 員	青 山 秀 夫	大 道 安 次 郎	藤 原 恵
	小 関 藤 一 郎	蔵 内 数 太	岡 村 重 夫
	清 水 盛 光	栃 原 知 雄	(A B C 順)
普 通 会 員	田 中 国 夫	西 尾 朗	定 平 元 四 郎
	嶋 田 津 矢 子	萬 成 博	本 出 祐 之
	倉 田 和 四 生	半 田 一 吉	遠 藤 惣 一
	佐々木 薫	中 野 秀 一 郎	張 光 夫
	中 山 慶 一 郎	J.A. ジ ョ イ ス	宮 田 満 雄
	船 本 弘 毅	紺 田 千 登 史	村 川 満
	安 田 三 郎	W.B. デ ー ヴ ィ ス	真 鍋 一 史
	加 藤 春 恵 子	山 路 勝 彦	海 野 道 郎
	加 山 本 剛 郎	高 田 真 治	芝 田 正 夫
	芝 野 松 次 郎		

関西学院大学社会学部研究会会則

- 第 1 条 本会は関西学院大学社会学部研究会とよぶ
- 第 2 条 本会は社会学および隣接諸科学の研究ならびに会員相互の交流を計ることを目的とする。
- 第 3 条 本会は上記の目的を達するために次の事業を行う。
- 1 機関誌「関西学院大学社会学部紀要」の発行。
 - 2 研究会および講演会の開催。
 - 3 研究叢書の刊行。
 - 4 その他本会の必要と認める事業。
- 第 4 条 本会の会員は次の 3 種とする。
- 1 名誉会員 本会の特に推薦するもの。
 - 2 普通会員 本会社会学部専任の教授，助教授，講師および助手。
 - 3 賛助会員 以上の外申込のあったもの。
- 第 5 条 普通会員は年額19,200円，賛助会員は年額10,000円以上の会費を納めなければならない。納付済の会費は返還しない。
- 第 6 条 本会員および本会社会学部大学院生・学部学生は機関誌の配布を受ける。学生の講読費は昭和56年度入学生より年額1,600円とする。
- 第 7 条 本会に次の役員をおく。
- 1 会長（1名）は，社会学部長をもってあてる。
 - 2 評議員（6名）は，普通会員の中から互選し，本会の運営に当る。
 - 3 編集，会計，庶務の各委員は，評議員の中から互選する。
 - 4 会計監査（2名）は，普通会員の中から互選する。
 - 5 書記は，社会学部事務長に委嘱する。
- 第 8 条 本会役員の任期は2年とする。重任を妨げない。
- 第 9 条 本会会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。予算・決算は総会の承認を得なければならない。
- 第 10 条 総会は年1回とし，本会の重要事項を議決する。臨時総会の開催を妨げない。
- 第 11 条 本会は事務所を本会社会学部におく。
- 第 12 条 本会会則の変更は総会の議決によらなければならない。

59年3月20日 印刷

59年3月25日 発行

編集発行人 武 田 建

発行所 関西学院大学社会学部研究会

〒662 西宮市上ヶ原一番町

関西学院大学社会学部内

電話(0798)(53)6111(代表)
(内線) 4212

印刷所 尼崎印刷株式会社

〒660 尼崎市北大物町25

電話(06)481-0707(代)

KWANSEI GAKUIN

SOCIOLOGY DEPARTMENT STUDIES

(SHAKAIGAKUBU-KIYO, KWANSEI GAKUIN DAIGAKU)

No. 48

March 1984

The Study Association of Sociology Department

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

Nishinomiya, Japan
